

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略1】

世界で活躍する人材の育成

主要事業実施工程表（6-1 世界で活躍する人材の育成）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
1 グローバル人材の育成（長期：1，中期：I-2②）					
<p>主要指標</p> <p>○高校生の留学（疑似留学体験、海外語学研修を含む）者数 300人</p>					
<p>●国際性豊かな児童生徒を育むため、日本人としてのアイデンティティの確立や英語教育の充実を図るとともに、海外留学の支援や、欧米諸国、アジア諸国等との交流促進により、異文化理解やコミュニケーション能力の育成などを推進します。</p> <p>また、小学校英語教育の早期化・教科化を踏まえ、授業で活用できるデジタルコンテンツを作成・配布し、児童の英語によるコミュニケーション能力の育成などを推進します。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ALTと徳島を学ぶデイキャンプ」の小学生参加者数（累計） ②569人→③0490人 ○中学生の留学、英語体験宿泊活動の年間参加者数 ②542人→③0120人 ○高校生の留学（疑似留学体験、海外語学研修を含む）者数 ②5106人→③0300人 ○「英語学習デジタルコンテンツ」の作成 ②9作成 	推進				→
	220人	310人	400人	490人	
	90人	100人	110人	120人	
	190人	230人	270人	300人	
<p>●優れた「国際感覚」を持つ人材を育成するために、学校の枠を越えて切磋琢磨する「徳島ウインターキャンプ」を創設し、知・徳・体の調和がとれた、将来的に社会の各分野を牽引していく人間力を備えた「Super Student」の育成を図ります。＜教育＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要大学（スーパーグローバル大学）進学者数 ②5280人→③0340人 ○東京大学、京都大学進学者数 ②522人→③044人 	推進				→
	295人	310人	325人	340人	
	27人	32人	38人	44人	

主要事業実施工程表（6-1 世界で活躍する人材の育成）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 貿易・投資関連情報の収集・提供や国際ビジネスの即戦力となる人材育成、海外との産業交流の機会の創出等により、県内企業のグローバル展開を支援します。（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <商工> ○徳島県の輸出額 （徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分） ㉕150億円→㉗170億円 ○徳島県の輸出企業数 （徳島県貿易・国際事業実態調査、中小企業分） ㉕95社→㉗126社 ○県内大学生への留学支援人数（累計） ㉕1→㉗50人 	実施			→
	158億円	162億円	166億円	170億円
	106社	112社	119社	126社
	12人	25人	37人	50人
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校へ日本語講師を派遣したり、研修会を開催したりすることにより、帰国・外国人児童生徒に対する教育を推進します。<教育> ○日本語講師を派遣する対象の児童生徒数 ㉕39人→㉗～㉗年間50人 	推進			→
	50人	50人	50人	50人

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略2】

とくしまオンリーワンスクール の創造

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 徳島ならではの教育の振興（長期：2，中期：I-2①）				
<p>主要指標</p> <p>○学校分散型「チェーンスクール」実施地域数 5地域</p>				
<p>● 教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、「総合教育会議」を設置し、本県教育行政の羅針盤となる「徳島教育大綱（仮称）」を策定します。 また、一貫した学習環境の下で学ぶ機会を選択できる中高一貫教育のさらなる充実とともに、人口減少社会に対応した新しい教育として、小規模化する学校を教育資源や地域の社会教育施設等を相互に活用することにより、多様な学びを保障する「新しい小中一貫教育（徳島モデル）」として県内に普及するなど、地域の特性を活かした新たな教育モデルの実践に取り組みます。＜政策・教育＞</p> <p>○「徳島教育大綱（仮称）」の策定・推進 ⑳策定</p> <p>○学校分散型「チェーンスクール」実施地域数 ㉕1地域→㉗5地域</p> <p>○学校一体型「パッケージスクール」実施地域数 ㉕1地域→㉙3地域</p>	推進			
	5地域 1地域	5地域 2地域	5地域 3地域	5地域 3地域
<p>● 大学との連携のもと、授業改善による指導力向上に向けた実践研究を実施し、その成果を県内全域に普及することにより、本県児童生徒の学力の向上を推進します。＜教育＞</p> <p>○「学力・学校力向上拠点校」の設置 ㉗設置</p>	設置	推進		

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 子どもの学びの連続性を踏まえ、教育の質の向上を図るため、小・中学校間における教員の人事交流を推進します。また、グローバル人材の育成に向け、新しい教育課程に対応した英語教育の充実を図るため、小学校英語専科教員の配置を推進するとともに、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、英語教育充実のための研修を推進します。特に、小学校の教科化を踏まえ、小学校教員の受講者数を拡大します。＜教育＞</p> <p>○小・中学校間における教員の人事交流の推進 ②5→③0 15人</p> <p>○小学校英語専科教員の配置 ②5 4人→③0 12人を配置</p> <p>○英語教育充実のための研修における小学校教員の受講者数（累計） ②5→③0 380人</p>	推進			→
	6人	9人	12人	15人
	6人	8人	10人	12人
	120人	180人	280人	380人
<p>● 各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、県下2地域で高校再編を進めます。また、地域活性化や地域に根ざした教育を展開するため、時代に対応した新学科等の設置や学科再編等を行います。＜教育＞</p> <p>○高校の再編地域数 ②9 1地域</p>	推進		1地域	→
<p>● 生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域におけるキャリア教育を推進します。＜教育＞</p> <p>○高校におけるインターンシップの実施率（全日制・定時制） ②5 82.9%→③0 100.0%</p>	推進			→
	92.0%	95.0%	97.0%	100.0%
<p>● テレビ会議システム等のICTを活用した公立学校での遠隔指導・授業や交流学习、研修、会議等を推進します。＜教育＞</p> <p>○テレビ会議システムの利用回数 ②5 514回→②7～③0年間550回</p> <p>○高校での双方向遠隔授業・講座の実施回数 ②5→③0 20回</p>	推進			→
	550回	550回	550回	550回
	5回	10回	15回	20回
<p>● ICT活用教育の充実を図るため、ICTを活用した授業実践についての教員研修を推進します。＜教育＞</p> <p>○ICTを活用した授業実践の研修参加者数 ②5 377人→②7～③0年間400人</p>	推進			→
	400人	400人	400人	400人

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」により、幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。また、幼稚園・保育所・認定こども園・家庭・地域・行政等が連携し、幼保合同の教員研修や行事の実施など総合的な幼児教育の展開を図ります。</p> <p><教育> ○幼稚園と保育所の連携の実施の割合 ②5 85.2%→③0 90.0%</p>	促進			→
	86.0%	87.0%	88.0%	90.0%
<p>● 児童生徒の豊かな心を育むため、スクールカウンセラーの配置拡充や、スクールソーシャルワーカーの増員等を図ります。また、問題行動の未然防止・解消につながる取組を推進するために、実践研究の成果を踏まえ、徳島版予防教育の普及・啓発を行うとともに、より高度な知識を有する専門家による「学校問題解決支援チーム」の充実を図ることにより、いじめ・不登校をはじめとする児童生徒の多様な悩みに対応する支援体制の一層の強化を図ります。</p> <p><教育> ○スクールカウンセラーの配置 ②5 緊急事態に対してのスクールカウンセラーの緊急支援体制の整備 →③0 県立学校への派遣拡充 ○スクールソーシャルワーカー配置数 ②5 9人→③0 14人 ○徳島版予防教育 ②5 実践研究→②8 県内小中学校に普及</p>	推進			→
	11人	12人	13人	14人
<p>2 充実した学びの推進（長期：1，中期：I-2①）</p> <p>主要指標 ○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率 国語・算数（数学）で全国平均正答率以上</p>				
<p>● すべての学校・園に学力向上検討委員会を設置し、学力向上推進員を中心に子供たちの学力向上を図るとともに、各学校の取組を情報発信します。<教育> ○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率 ②9 調査で対象となっている 国語・算数（数学）で全国平均正答率以上</p>	推進		全国平均正答率以上	→
<p>● 子どもの読書活動推進計画に基づき、県内全域で読書習慣の定着を図ります。<教育> ○一日10分以上読書（新聞等を含む）をする児童生徒の割合 小5 ②5 86.5%→③0 90.0% 中2 ②5 79.8%→③0 85.0%</p>	推進			→
	87.0% 80.0%	88.0% 83.0%	89.0% 84.0%	90.0% 85.0%

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 就学前教育と小学校教育とのつながりを円滑にするため、保育所・幼稚園・小学校の適切な連携の在り方についての研究を進め、成果を普及します。＜教育＞ ○幼小の教師間の合同会議や研修会を行う割合 ②⑤80.9%→③⑩90.0% 	推進			→
	82.0%	84.0%	81.0%	90.0%
<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中学校のより円滑なつながりと学力向上を図るため、小中一貫教育についての研究を進め、成果を普及します。＜教育＞ ○小・中学校の教師間で合同の会議や研修会を行う割合 ②⑤63.0%→③⑩90.0% 	推進			→
	65.0%	73.0%	81.0%	90.0%
<p>3 豊かな心と健やかな体の育成（長期：1，中期：I-2②）</p> <p>主要指標</p> <p>○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数（全34種目中） 17種目</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒の実態把握をもとに、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、児童生徒の体力向上を図ります。また、「元気な阿波っ子憲章（仮称）」を制定し、子供たちが健康について学び、自ら考え、実践できるよう、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して取り組みます。特に、子供たちの望ましい生活習慣の定着を図り、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。さらに、地場産物を活用した学校給食の推進や、食に関する指導の充実のために、栄養教諭の配置を拡充し、徳島の産物や食文化への理解を深めるなど、徳島ならではの魅力ある食育を推進します。（再掲）＜教育＞ ○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果において全国平均以上の種目数（全34種目中） ②⑤9種目→③⑩17種目 ○「元気な阿波っ子憲章（仮称）」の制定 ②⑦制定 ○肥満傾向の児童生徒数（小中高校） ②⑤5,437人→③⑩H25年度比8%減 ○学校給食に地場産物を活用する割合 過去10年間の平均32.7%→③⑩35% ○小中学校への栄養教諭の配置人数 ②⑤49人→③⑩60人 ○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合 ②⑤11.1%→②⑨55.5% 	推進			→
	11種目	13種目	15種目	17種目
	2%減	4%減	6%減	8%減
	35%	35%	35%	35%
	52人	54人	57人	60人
33.3%	44.4%	55.5%	55.5%	
<ul style="list-style-type: none"> ● 牟岐少年自然の家を活用し、地域住民の参画を得て、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を推進します。＜教育＞ ○牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を含む自然体験・交流体験等への参加者数 ②⑤100人→③⑩400人 	推進			→
	250人	300人	350人	400人

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 道徳教育の充実を引き続き取り組むとともに、家族と一緒に話し合うなど家庭や地域と連携して道徳教育を推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間の授業参観を実施している学校の割合 小②⑤93.0%→③①100.0% 中②⑤83.5%→③①90.0% 	推進 94.0% 84.0%	96.0% 86.0%	98.0% 88.0%	100% 90.0%
<ul style="list-style-type: none"> ● ICTを活用した「手軽にできる運動」のランキング判定システムを運用し、楽しみながら、児童生徒の運動習慣の確立を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学生の「ランキング判定システム」の参加グループ数 ②⑤805グループ→③①3,000グループ 	推進 1,500 グループ	2,000 グループ	2,500 グループ	3,000 グループ
<p>4 地域に開かれた学校づくり（長期：1，中期：I-2①）</p> <p>主要指標 ○「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組 4事例</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域の教育・文化の創造拠点」として、全国そして世界を目指す学校独自に企画した徳島ならではの取組や研究活動を展開することにより、特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「スーパーオンリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組 ②⑤4事例→②⑦～③①年間4事例 	推進 4事例	4事例	4事例	4事例
<ul style="list-style-type: none"> ● 公立学校に「コミュニティ・スクール」を導入し、地域に開かれた学校づくりを進めます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「コミュニティ・スクール」モデル校数（累計） ②⑤21校→③①33校 	推進 24校	27校	30校	33校
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが、放課後や土曜日、休日等における多様な学習や体験活動及び地域住民との交流活動等を行う豊かな環境づくりを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○放課後や週末等における教育・体験活動の実施率 ②⑤35%→③①90% 	推進 45%	60%	75%	90%
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の小・中学校区で、読み聞かせや昔遊びなどの教育支援活動、登下校の見守り、学校施設の環境整備などを行う団体を、「学校サポーターズクラブ」として認証し、学校支援の体制づくりを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○学校サポーターズクラブの登録数 ②⑤52団体→③①90団体 	推進 69団体	76団体	83団体	90団体

主要事業実施工程表（6-2 とくしまオンリーワンスクールの創造）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するため、自己評価や学校関係者評価を活用した、学校評価システムの充実・改善を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価の実施率（幼稚園、小・中・高校、特別支援学校） ②5 100%→②7～③0 100% 	推進			→
	100%	100%	100%	100%
<p>5 安全・安心な学校づくり（長期：1，中期：Ⅱ-2）</p> <p>主要指標 ○県立高等学校施設耐震化率 100%</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校施設を「よく・ながく」使い続けるために、耐震改修、工コ改修等を推進します。（再掲）＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○県立高等学校施設耐震化率 ②5 84%→②7 100% ○市町村立小・中学校施設耐震化率 ②5 97%→②7 100% ○エコスクール化県立学校数 ②5 29校→③0 45校（全校） 	推進			→
	100%			
	100%			
	38校	40校	42校	45校
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ボランティア活動の支援を行い、幼児・児童生徒の安全確保を図る取組みを継続的に推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○学校安全ボランティア数 ②5 12,661人→③0 12,000人 ○児童生徒の交通事故発生件数 ②5 349件→②7～③0年間300件以下 ○地域と学校が連携した防災活動の実施率 ②5 100%→②7～③0 100% 	推進			→
	12,000人	12,000人	12,000人	12,000人
	300件	300件	300件	300件
	100%	100%	100%	100%
<ul style="list-style-type: none"> ● 通学路等における児童・生徒の安全対策を推進するため、「子ども110番の家（車）」の支援、「自主防犯活動用自動車（青色回転灯装着車）」を活用したパトロール実施団体などのボランティアと連携し、子ども見守り活動を強化します。＜警察＞ 	推進			→

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略3】

徳島の強みを活かす教育の展開

主要事業実施工程表（6-3 徳島の強みを活かす教育の展開）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 「6次産業化教育プログラム」の充実（長期：1，中期：1-2①）				
主要指標 ○6次産業化商品のプロデュース数 10件				
●農工商教育の活性化を図るため、平成27年3月に策定した「徳島県農工商教育活性化方針」に基づき、高校における農工商教育の活性化に取り組むとともに、農工商が連携した6次産業化に対応した教育を推進します。＜教育＞ ○6次産業化商品のプロデュース数（累計） ②5→③0 10件	推進 1件	4件	7件	10件
●徳島大学「生物資源産業学部（仮称）」の創設を支援するとともに、農業系のコースを持つ専門高校や農業大学校、アグリビジネススクールとの連携を強化し、6次産業化を担う人材を育成します。（再掲）＜政策・農林＞ ○「生物資源産業学部（仮称）」の創設 ②8創設		創設	推進	
●農工商連携による生産・加工・販売が一体化した6次産業化に対応した教育を行うとともに、高等教育機関等との接続も視野に入れた専門学科を設置し、地域活性化を担う即戦力を育成します。（再掲）＜教育＞ ○県立高校「6次産業化専門学科」の設置 ②9設置	準備		設置	推進
●豊かな森林資源の未来を創造し、次代の循環型成長産業を担う人材を育成するため、地域資源に恵まれた地域において、林業に関する新たな教育を展開します。（再掲）＜教育＞ ○県立高校卒業者のうち、林業関連従事者数（累計） ②5→③0 15人 ○県立高校「林業関係学科」の設置 ②8設置	推進 3人	6人	10人	15人
●産業技術の進展や企業が求める人材の育成を図るため、産業界や大学と連携し、専門教育の充実に取り組むとともに、高校生の活動を広く県民にアピールします。＜教育＞ ○高校生産業教育展における来場者数 ②5 1,000人→③0 1,500人	推進 1,200人	1,300人	1,400人	1,500人

主要事業実施工程表（6-3 徳島の強みを活かす教育の展開）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
2 特別支援教育の推進（長期：1，中期：I-2③）				
<p>主要指標</p> <p>○「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム（仮称）」と連携した実践研究の事例数 40件</p>				
<p>● 障がいのある子供とない子供が、共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの場の充実や、特別支援学校のセンター的機能の充実と専門性向上を図るため、専門家と連携するなど、県下全域におけるきめ細かな特別支援教育の充実を図ります。＜教育＞</p> <p>○「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム（仮称）」と連携した実践研究の事例数（累計） ②5→③0 40件</p>	推進	20件	30件	40件
<p>● 教員が幼児・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援ができるように、研修内容の充実を図り、専門性の向上に取り組みます。＜教育＞</p> <p>○特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数 ②5→③1, 400件</p>	推進	1,000件	1,200件	1,400件
<p>● 企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就労意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組みを強化します。＜教育＞</p> <p>○県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率 ②5 97%→②7~③0 100%</p>	推進	100%	100%	100%
<p>● 併置する2つの学校としてスタートした徳島視覚支援学校、徳島聴覚支援学校において、両校教員の連携による幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた特別支援教育を展開します。＜教育＞</p> <p>○徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数 ②5 連携準備→③0 400回</p>	推進	350回	400回	400回
<p>● 高等学校において、発達障がい等のある生徒の支援充実を図るため、新たに将来の社会的自立に向けた新たな学習内容を取り入れた教育（自立活動）を推進します。＜教育＞</p> <p>○「自立活動」の内容を取り入れた学習活動実施校数 ②5→③0 10校</p>	推進	1校	3校	5校

主要事業実施工程表（6-3 徳島の強みを活かす教育の展開）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
3 発達障がい者（児）への支援（長期：1，中期：I-3②）				
<p>主要指標 ○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 1,500件</p>				
<p>● 発達障がい者（児）を支援する施設を集約した「全国に先駆けた」総合的な支援体制（ゾーン）の充実を図るため、西部に新たな拠点を整備し、県下全域に発達障がい者（児）とその家族が抱える「不安の軽減」及び発達障がい者の「自立と社会参加」の促進を図るとともに、教育・医療・就労の各機関との連携により、きめ細やかな発達障がい者の支援を推進します。（再掲）＜保健・商工＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 ②5 968件→③0 1,500件 ○「発達障がい者総合支援センター」の相談件数 ②5 2,469件→③0 3,500件 ○発達障がい児支援専門員養成数 ②5 1人→②7～③0年間15人 ○「発達障がい者支援推進プラン（仮称）」の策定 ②7策定 ○「発達障がい者総合支援センターアイリス（美馬市）」の開設 ②7開設 ○「アイリス」と「西部テクノスクール」が連携した職業訓練の実施 ②7実施 	推進			
	1,200件	1,300件	1,400件	1,500件
	2,900件	3,100件	3,300件	3,500件
	15人	15人	15人	15人

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略4】

地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進

主要事業実施工程表（6-4 地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 「文化芸術教育」の強化（長期：3、中期：I-2①）				
主要指標 ○高校生による地域連携事業に参加した地域住民等の満足度（アンケート調査） 85%				
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化芸術教育の拠点となる「文化芸術リーディングハイスクール」を指定し、芸術を学ぶ生徒の技術力と教員の指導力を向上させ、地域の文化芸術を担う人材を育成します。また、高校生による地域活性化を図るため、文化芸術やスポーツ、食育等による地域と連携した取組みを推進します。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「文化芸術リーディングハイスクール」の指定 ㉗ 指定 ○高校生による地域連携事業に参加した地域住民等の満足度（アンケート調査） ㉕→㉓ 85% 	指定・推進			
	70%	75%	80%	85%
<ul style="list-style-type: none"> ● 次代の「あわ文化」を担う人材を育むため、新たに設立される徳島県中学校文化連盟と連携し、学校や市町村の枠を越えた文化芸術の発表の場として「徳島県中学校総合文化祭」を創設し、中学生の文化芸術力を創り出し、高めます。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○「徳島県中学校総合文化祭」の創設 ㉗ 創設・実施 	創設・実施	推進		
2 トップアスリートの育成（長期：3、中期：V-4）				
主要指標 ○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 22団体・個人				
<ul style="list-style-type: none"> ● 有力選手を特定の高校へ集め、指導体制を整備するとともに、中学校、高校及び各競技団体等関係機関の三者間での連携強化を進めるなど、競技力向上のための基盤強化を図ります。また、早い段階での有力選手の発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考した上で中学校段階での指導体制強化を図ります。＜教育＞ <ul style="list-style-type: none"> ○全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数 ㉕ 11団体・個人→㉓ 22団体・個人 ○全国中学校体育大会等の入賞（団体・個人）数 ㉕ 9団体・個人→㉓ 13団体・個人 	推進			
	17団体・個人	18団体・個人	20団体・個人	22団体・個人
	10団体・個人	11団体・個人	12団体・個人	13団体・個人

主要事業実施工程表（6-4 地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<p>● 全国高校総体や国民体育大会において上位入賞を目指す高校生トップアスリートを育成するために、全国大会上位成績の他県強豪チームを招待し、交流試合等を実施します。トップレベルの競技力を体感することにより、チームや個人の競技力向上を図ります。＜教育＞</p> <p>○「とくしまスポーツキャンプ」の創設 ⑳創設</p> <p>● 平成24年度に開校した鳴門渦潮高校「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、スポーツの拠点校としてより高度で質の高いスポーツ教育を行い、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。＜教育＞</p> <p>○徳島県高等学校総合体育大会等での鳴門渦潮高校の優勝種目数 ㉑1種目→㉒8種目</p>	創設	推進		
	推進			
	5種目	6種目	7種目	8種目

基本目標6 「まなび・成長とくしま」の実現

【重点戦略5】

若者が創るとくしまの推進

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
1 未来をつくる若者の創造（長期：1，中期：I-5①）				
主要指標 ○「地域連携フィールドワーク講座」延べ参加人数 500人				
● 大学などの高等教育機関との連携強化を進め、高等教育機関の有する知的・人的資源及び社会貢献機能を地域づくりに活かすとともに、包括協定締結大学と連携した「地域連携フィールドワーク講座」を拡充し、大学生による地域の課題解決や活性化に向けた取組みを推進することで、地域の未来を創造する人材を育成します。 （再掲）＜政策＞ ○「地域連携フィールドワーク講座」延べ参加人数（年間） ②⑤→③①500人	推進			
● 県内大学と連携して、新たに「ボランティアパスポート制度」を創設し、県がボランティアメニューを提供するとともに、大学は学生のボランティア活動を単位に認めることで、学生による地域でのボランティア活動を促進します。 （再掲）＜政策＞ ○「ボランティアパスポート制度」の創設・推進 ②⑦先行実施→②⑨拡充	創設・先行実施	推進	拡充	
● 徳島の未来を担う若者が、「課題解決先進県・徳島」をフィールドとした地域の様々な取組みを学び考える「対話の場」を創設します。＜県民＞ ○「とくしま若者未来夢づくりセンター（仮称）」の創設 ②⑦創設	創設	推進		
● 県審議会等委員への若者の登用を進め、若者の政策・方針決定過程への参画を促進します。＜県民＞ ○「県審議会等委員に占める若者（40歳未満）」の割合 ③⑩8.6%を維持	推進			
● 若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化の取組及び交流人口の拡大を図るため、南部圏域をフィールドとした大学生による研究等を実施するとともに、県外大学生による南部圏域ならではの農山漁村体験や実習の実施、さらに、大学サテライトキャンパスの誘致を促進し、地域振興策の検討や移住・定住のきっかけづくりとする。（再掲）＜南部＞ ○フィールドワーク参加学生数 ②⑤399人→②⑦～③①年間500人	推進			
	400人	430人	460人	500人
	500人	500人	500人	500人

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）				
	H27	H28	H29	H30	
2 若者の県内就職促進（長期：3，中期：Ⅳ-1③）					
主要指標 ○農業系大学生等によるインターンシップ参加者数 525人					
<ul style="list-style-type: none"> ● 産学官が連携した学習プログラムやインターンシップを通じて農林水産業や関連産業に対するキャリアを広げ、本県農林水産業を担う人材の育成・確保を進めます。（再掲）<農林> <ul style="list-style-type: none"> ○農業系大学生等によるインターンシップ参加者数（累計） ②⑤106人→③①525人 ○インターンシップ受入登録事業者数 ②⑤→③①60箇所 ○「農業及び関連分野への就業促進協定（仮称）」の締結 ②⑧締結 	推進				→
<ul style="list-style-type: none"> ● 徳島県出身者が多く進学している関西圏の大学（就職支援協定締結大学）の学生と、県内企業等のインターンシップを促進し、学生の職業観の育成を図り、就職のミスマッチを防ぐとともに、県内企業の魅力を認識してもらうことで、県内へのUターン就職を促進します。（再掲）<商工> <ul style="list-style-type: none"> ○就職支援協定締結大学と連携したインターンシップの促進 ③①全大学で実施 	調整	促進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代を担う青少年に対して社会貢献活動の理解を深める機会を提供するとともに、協働による地域づくりへの参画を促進するため、NPO法人によるインターンシップを推進します。<県民> <ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人でのインターンシップ活動体験者数 ②⑤→②⑦～③①年間10人 	推進				→
	150人 40箇所	275人 45箇所	400人 50箇所	525人 60箇所	
	10人	10人	10人	10人	
					全大学で実施

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
3 青少年の健全育成（長期：1，中期：I-2④）				
主要指標 ○青少年指導者養成講座参加者数 70人				
<ul style="list-style-type: none"> ● 青少年が様々な活動に主体的に参加するためのノウハウを学ぶ機会や、活動を支援する人々との交流の場を提供し、青少年リーダーや青少年活動指導者を育成します。<県民> ○青少年指導者養成講座参加者数 ②5 51人→③0 70人 	実施			→
	55人	60人	65人	70人
<ul style="list-style-type: none"> ● 徳島県青少年センターの魅力的な運営を行うことにより、青少年のニーズやライフスタイルの多様化に対応し、更なる利用促進に取り組みます。<県民> ○徳島県青少年センター利用者数 ②5 219,876人 →②7～③0年間210,000人 	推進			→
	21万人	21万人	21万人	21万人
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校、家庭、地域社会が共通の理解・認識のもとに、青少年に体験の場や機会を提供することにより、自立心や社会性を育成します。<県民> ○少年の日事業、青少年センターまつり等参加者数 ②5 2,331人→③0 2,500人 	実施			→
	2,400人	2,430人	2,460人	2,500人
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校、家庭、地域社会や関係機関が一体となって、非行防止と健全育成に取り組みます。<県民> ○「防ごう！少年非行」県民総ぐるみ運動参加者数 ②5 700人→②7～③0年間700人 	推進			→
	700人	700人	700人	700人
<ul style="list-style-type: none"> ● 「徳島県青少年健全育成審議会」において、青少年の健全育成のために必要な調査・審議を行うとともに関係機関との連絡調整を図ります。<県民> 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 青少年自身が非行防止について協議し、自らのメッセージを同世代の青少年や保護者等に発する機会を提供します。<県民> 	推進			→
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における子ども・若者の支援者として「ユースサポーター」を養成し、ネットパトロール活動、フィルタリング利用促進活動による有害環境の浄化及び問題を抱えた子ども・若者への相談・支援活動を行います。<県民> 	推進			→

主要事業実施工程表（6-5 若者が創るとくしまの推進）

主要事業名・事業概要・数値目標	工程（年度別事業計画）			
	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒による問題行動で課題を抱える市町村立小・中・高等学校及び県立学校への支援を充実させるため、市町村教育委員会、関係警察署、青少年育成補導センター、こども女性相談センター等関係機関からなる「阿波っ子スクールサポートチーム（ASST）」活動の連携を強化します。＜教育・警察＞ 	推進			
<p>4 若者目線の情報発信（長期：3，中期：1-2④）</p> <p>主要指標 ○「徳島県SNS」利用登録数 28,000件</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ● 県民との意思疎通を図り、県勢の発展につなげるため、時代に即した広報媒体を有機的・効果的に活用し、利用者が必要とする情報を積極的かつきめ細やかに提供し、県民の利便性の更なる向上を図ります。（再掲） <p>＜経営＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「徳島県SNS」利用登録数 ②⑤13,600件→③⑩28,000件 	推進			
	24,000 件	26,000 件	27,000 件	28,000 件